

卒業予定者に対する 進路案内

大学・専門学校の学校推薦型入試に関して

学校長の承認を受け、大学・専門学校に担任の推薦書を添えて出願する方法です。土曜コース在学学生であっても、平日コースと同様に受験をすることが可能です。

(全体的な成績や出席状況が良好な人にお勧め。)

原則として学科試験は実施されず、面接と作文（小論文）のみの場合がほとんどです。

詳細は各大学・専門学校の募集要項・入学案内で確認して下さい。

推薦条件

①立志舎高校が推薦するにふさわしいと判断される人物であること。

(成績、出席状況、レポート状況、平素の生活態度、部活動、などを考慮します。)

②対象の大学・専門学校が規定する出願条件を満たすこと。

(学校ごとに条件が異なります。 例：評定平均〇〇以上、欠席〇日以内、など)

③学内で実施予定の基礎学力試験で合格すること。(大学のみ)

※評定平均：1年次から3年前期までの全科目の5段階評定を、全て平均した数値です。

この数値が相手校の指定基準を上回る必要があります。

※各学校の条件や、出願時期に関しては、原則として各自の責任において調査・確認して下さい。(どうしても不明な場合は担任までお問い合わせ下さい。)

指定校推薦について

あらかじめ一部の大学・専門学校から、立志舎高校に対し一定数の推薦者枠を指定されていて、それに対し学内選考で対象者を決定する推薦方法です。(注意:合格後の辞退は出来ません。)

毎年、指定対象校が一部異なるので、対象学校一覧などは必ず担任に確認してください。

(※学校推薦型入試と同様に、推薦条件を満たす人物のみが出願対象となります。)

総合型選抜試験について

従来、『AO入試』と呼ばれていた試験形態で、自己推薦により出願する方法です。

(部活動、課外活動、ボランティア、趣味などに頑張った人にお勧め)

学校からの推薦書ではなく、本人の自己PRを「エントリーシート」等にまとめて提出します。2～3回の面接や小論文、または課題発表などが続く場合もあります。(基本的に学科試験はありません。)

詳細は、各大学・専門学校の募集要項を確認して下さい。

「PRできる長所」や「志望の動機」「入学してからやりたい事」をよく把握しておきましょう。今まで打ち込んできた各種活動の実績や、入学後の目標など、他人と差をつけられるPRポイントが必要です。

大学入学共通テストについて

大学入試センターが実施する全国共通の学科試験を受験し、その得点数に応じて出願をする形態です。
受験希望者は各自で Web 出願する必要があります。(令和 7 年度より)

就職活動について

各地のハローワークより全国一斉に公開される「高校生対象の求人票」情報を活用し、各自が希望する企業を選択して、学校から応募する形式です。

立志舎高校でも墨田区ハローワークの協力により、多数の求人情報を公開する予定です。
今後は以下の日程で活動を行いますので、早めに担任までご相談下さい。

6月14日(土)……就職活動に関する事前説明会

7月1日(火)～ ……全国の求人情報の一斉公開

求人数が大量のため、閲覧には時間がかかりますのでご注意ください。

閲覧は学校の PC 上で行いますので、希望する場合は必ず事前連絡を入れて下さい。

7月～8月………企業訪問、会社見学への参加

学校から各企業に正式にアポイントを取り、直接訪問をします。

複数社の見学をしても大丈夫です。(2～3社を見学して比較しましょう)

大手企業などは、事前説明会への参加がないと応募できない場合もあります。

9月5日(金)……出願応募開始

各自一度に1社のみ出願可能です。締切りは会社ごとに異なります。

「履歴書」と「調査書」の事前準備が必要です。

※履歴書の書式は専用のものを使いますので注意してください。

9月16日(火)……選考試験開始

実際の選考日、試験内容は会社ごとに異なります

「面接」「作文」が主体ですが、まれに学科試験を行うところもあります。

《注意》

学校推薦型入試の受験には、学校宛に正式な申請と承認が必要となります。

指定の『推薦願』に必要事項を記入し、早めに担任まで提出して下さい。

※ 『推薦願』申請用紙の必要な者は、職員室まで申し出て下さい。

※ 提出された推薦願は、推薦判定会議にて協議し、最終的に承認の判断をします。大学の場合は基礎学力試験での基準クリアも条件となります。

※ 別途に指定の専用書式がある場合には、申請時に必ず持参して下さい。

※ 推薦書、調査書の発行には **1週間程度の期間が必要になります**。出願期間、必要書類をよく確認して、早めの申請をお願いします。